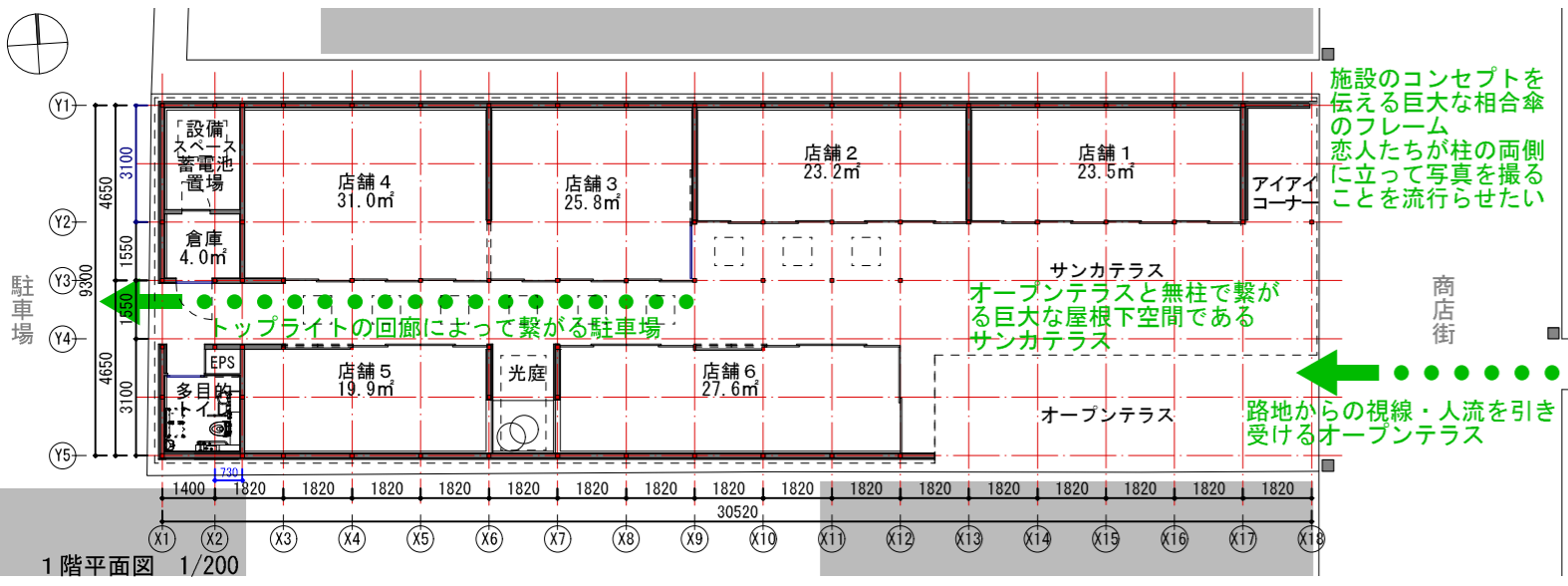


構造について
 小径木材による広がりのある空間
 柱・梁・トラス材などの主要な構造材は、すべて奈良県産の105 x 105の製材としている。廉価な小径木材を用いながらも、合理的なダイアゴナルトラスにより広い内部空間、大きな軒先空間を可能にしている。筋違には交代力でありながら施工性に優れた大臣認定部材のコポットブレースを用い、令和7年改正建築基準法に準拠した仕様となっている。なお、地震力に対しては耐震等級2同等の体力を確保し、災害時の避難場所として機能できることを想定している。

持続可能な構造
 耐震要素は、桁方向はY1通りとY5通りに集約し、建物内部の空間の自由度をあげるよう配慮しており、将来の改修にも対応しやすい構造としている。また、小径木材は将来的な改修時に入手しやすい材料であり、この点においても、施設の持続可能性を考慮している。



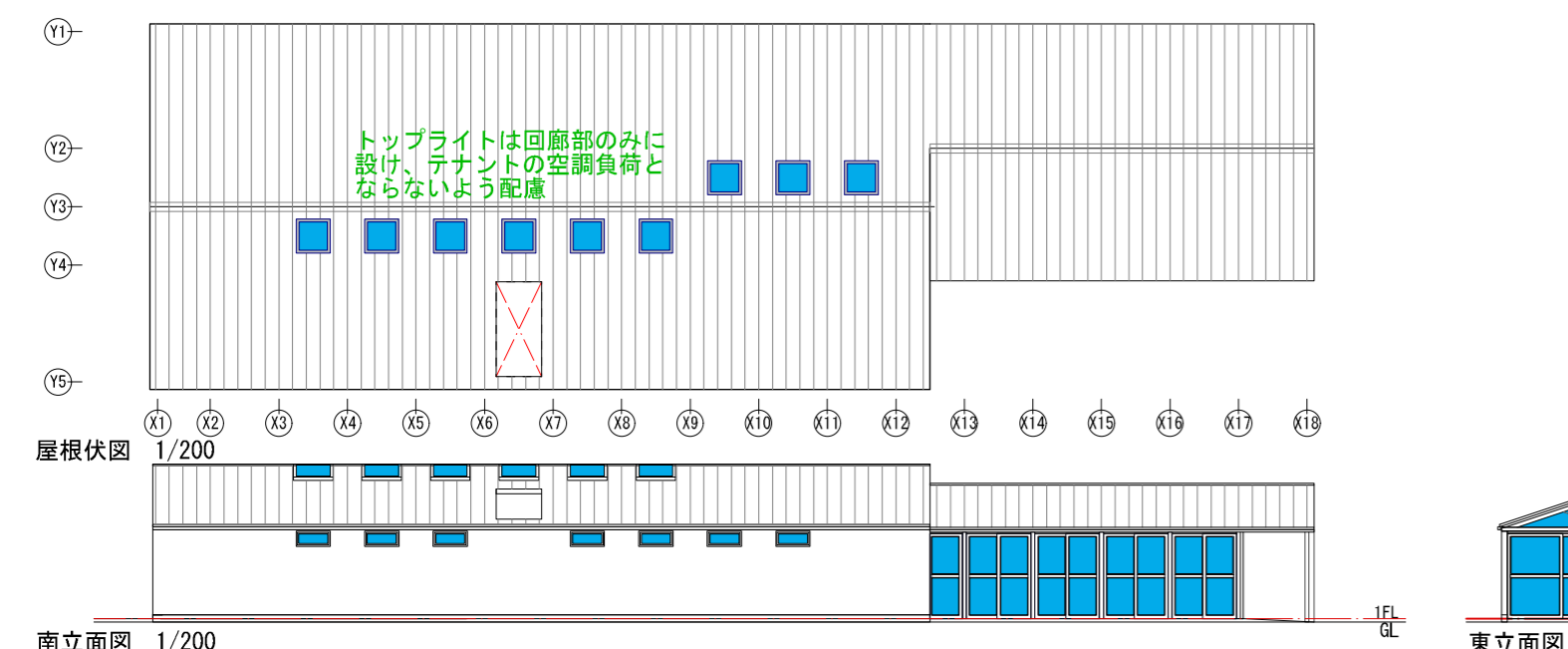
もちいどの相合傘
 餅井殿商店街の新たな繋がりを生む施設として、もちいどの相合傘を提案します。相合傘は傘の下で出会う二人の繋がりを象徴しています。そこでは顧客と店舗が、老舗と新業態が、修学旅行生と外国人観光客が、市民と地域が、未来と商店街が、そして世界と奈良が出会い、繋がりを生み出します。



出会いとつながりを生み出す相合傘トラスとサンカテラス
 小径木材による木造トラスによる広がり、奥行きを感じられる店舗・交流空間をつくります。梁及び間仕切り上部の相合傘をモチーフとしたフレームの連続が施設の空間イメージを作り出すことで、各店舗が新業態ならではの多様かつ自由な店舗意匠や店先への商品、看板、家具などのほりだしなどを行っても、施設としての全体性やもてなしの心を来訪者に印象付けます。

商店街に面して、オープンテラスと大きな軒下であるサンカテラスによる柱のない連続した空間を設けます。サンカテラスは相合傘のもう一方（店舗群）に対する開かれた場であり、イベント、ワークショップなどが行われることでさまざまな繋がりが生み出されます。サンカスペースとは相合傘の傘下の場であり、さまざまな人が参加することで、未来の商店街の賛歌が歌われる場でもあります。

テナントスペースについて
 各店舗のオープンスペースに面する界壁は開放可能であり自由かつ開放的な店舗運営が可能となっています。また、梁上部の界壁はガラスとし、何処にいても、相合傘トラスによる連続感や奥行き感を感じられます。



- 主要仕上**
- 屋根：ガルバリウム鋼板縦ハゼ吹き
 - 表面腐食防止用メッシュ
 - 防水シート
 - 下地ベニヤt=12 空気層
 - 構造用合板
 - 垂木+垂木間に断熱材（グラスウール）
 - 内部仕上：ベニヤ（延焼の恐れのない不燃ベニヤ）
 - 壁：外回り側ガルバリウムサイディング
 - 構造用合板 t=9
 - グラスウール（断熱材）
 - 下地ベニヤ t=5、5
 - 排煙サッシ（アルミ）
 - 内側オープンスペース側木製建具
 - 床：コンクリート金剛おさえ
 - 外壁側配管ビット上根太レス合板 t=25
 - ◆木部：浸透性塗料

